中学部１年生の立志式が行われ、それぞれが将来の抱負を発表しました。

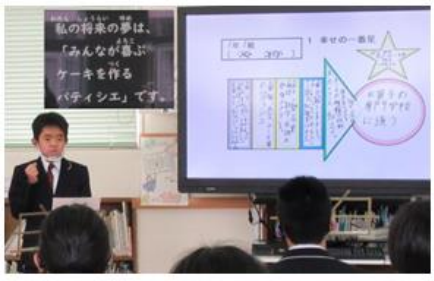
令和３年２月１２日（金）　篠原校長

本校では、中学一年生を対象に「立志式」を行います。中学生の時期は、心身の発達が目覚ましい頃となり、大人への準備が始まります。考え方も自分を見つめ、自分のことを中心に考える傾向になります。つまり、大人への入り口に立ち、自分の将来のことを真剣に考える時期となります。この時期に、「将来の抱負」を宣言することは、大事なことだと思います。立志式では、菊池後援会会長とPTA会長に来ていただきました。その前で、生徒達が、堂々と将来の抱負を発表してくれました。

校長挨拶

後援会長挨拶

後援会より記念品贈呈

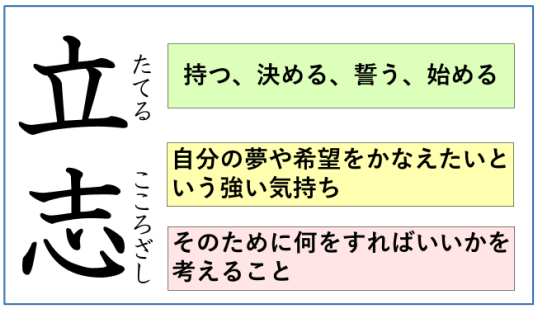


中学一年生一人一人による将来の抱負の発表

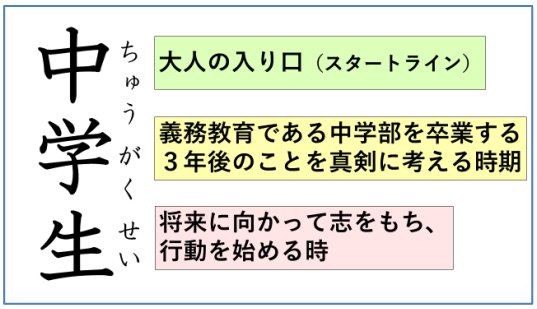
立志式　校長あいさつ

令和３年２月１２日（金）

おはようございます。立志式のはじめにあたり、話をしたいと思います。



皆さんは、「立志」の意味を知っていますか。
立志とは、漢字のとおり、「志（こころざし）」を「立てる」ということです。
では、「志」って何でしょう。志とは、自分の夢や希望をかなえたいという強い気持ちと、そのために何をすればよいかを考えることです。
そして、「立つ」って何でしょう。立つとは、持つ、決める、誓う、始めるということです。
つまり、「立志」とは、自分の夢や希望をかなえたいという
強い気持ちを持ち、これから自分がすること決め、行動を始めるという意味です。



中学部１年生の皆さんは、今、大人への入り口に立っています。
そして、義務教育である中学部を卒業する３年後のことを、真剣に考える時期です。
将来に向かって志を持ち、行動を始めるのが、今、中学生になった時なのです。

この後、それぞれの「志」の発表をしてもらいます。皆に聞いてもらい、
そして、自分自身でしっかり心に刻んでください。

今日は、中学部１年生を応援するために、後援会の菊池会長が来てくださっています。
この学校には、皆さんの成長を願い応援してくれている方がたくさんいます。感謝の気持ちを忘れず、志の実現に向けて、勉強や運動をがんばって欲しいと思います。

最後になりましたが、いつも本校を応援してくださっている、後援会長はじめ、後援会の方々に心から感謝いたしまして、私の話を終わります。